

令和6年度 第2回加美町生活支援体制整備事業 第1層協議体

1. 第1回生活支援体制整備事業 第1層協議体の振り返り
(R6.7.25開催)
2. 生活支援体制整備事業 第2層協議体の報告
(R6.8.20・8.22・8.23開催)



日時：令和7年3月10日(月)

<前回の協議体の振り返り>

(1) 令和6年度の生活支援体制整備事業について

- *平成29年度から協議体を設置し、生活支援体制整備事業を行っている。
- *令和4年度からは生活支援コーディネーター業務を社会福祉協議会に委託し、連携しながら進めている。
- *協議体での話し合いや生活支援コーディネーターの活動の中から、今まで把握できていなかった地域の活動・地域資源がかなり多く把握されつつある。
- *協議体で話を進めていく中で、それぞれの地域で活動している方々が委員として加わったことにより、より「具体的な地域の現状や取組み、アイデアが生まれるようになってきた。
- *令和5年度から「第2層協議体」を旧町単位ごとに設置
ミニディサービスリーダー情報交換会の場を位置づけ実施した。



令和6年度 生活支援体制整備事業は把握されつつある地域活動について
広く知ってもらい、興味をもってもらえるように…

- 令和6年度福祉のつどいの中で「お宝発表会」の実施
- 地域資源の視覚化「お宝情報誌(仮称)」の作成・配布に向けての検討

<前回の協議体の振り返り:R6.7.25>

(2) 委員のみなさんが把握している地域の支え合いの 取り組みや活動・場面は？(グループワーク)

1 G

セブンイレブンだけでなくファミリーマートも移動販売が始まった

工藤本店の常連客のサロン

子ども会

むつみ会

(地区の中にある女性部の集まり)

子ども会

(地区のお祭り)

移住者交流会

西小野田小学校

小学生と地域との交流

- ・やくらい登山会と一緒に登山
- ・神楽(大宮神社) 小5~6年生

PTAの交通安全 街頭指導

あゆの里公園

野菜のおすそわけ

校長先生の朝の街頭指導

貸し農園

保育園などの園児のお散歩中の住民の声かけ・見守り

2 G

ラテルネ山岳会

宮崎支所近くの交差点に毎朝
立っているおじさん

町内各地区のイベント

田川で散歩しながらゴミ拾いする
〇〇さん

宮崎地区 駅伝大会
(部落内で練習を支える全員で
役割分担！)

パークゴルフ場

散歩しながらゴミ拾いしている
一人暮らしのおじいさん

初午まつり

薬師の湯

鍋まつり

キャンプ場

畑作業のグループ
(鳴瀬川の河川敷) 複数あり

ナイトバザール

地域づくりセンター

ミニディ・サロンへの誘い合い
(口コミ)の力は最強！

中新田地区の運動会

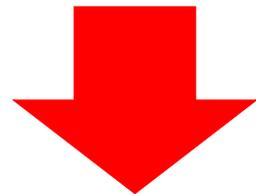
商店のお客様とのつながり

欠席された委員さんからは・・・

- ・ミニディサービス→ 集まりの中では健康チェックをして、会の歌を痛い、加美町げんきわくわく体操をしてから本日の事業を始める。コロナ前はマイクロバスを利用していた社会見学もありました。
- ・草刈り支援(1日家族応援隊) → 高齢者世帯(一人暮らし世帯含む)・女性世帯の住居周辺の草刈り支援
- ・お買い物バスツアー(1日家族応援隊) → 普段高齢者が買い物に行けないような施設等への買い物支援活動
- ・あいのりデー(1日家族応援隊) → 加美郡内にあるスーパーや直売施設への買い物支援活動
隊員が自らの車で買い物支援活動
- ・除雪支援(1日家族応援隊) → 高齢者世帯(一人暮らし世帯含む)・女性世帯の住居周辺の除雪支援

<前回の協議体の振り返り>

「近所の人とのお茶のみだけ」というが、それも大きなお宝となる。
町のイベントもたくさんある。
何気ないことがお宝となり、目に見えないつながりや支え合いも、
地域資源の一つになる。一つ一つの活動が交流につながっていく。



お宝情報誌の作成に向けて、さらに話しあっていけるといい！

前回の協議体に引き続き、

「地域資源の見える化(お宝情報誌の作成)に向けて」

をテーマに話し合っていきたいと思います。

令和6年度生活支援体制整備事業 第2層協議体



昨年度に引き続き、
「ミニディサービスリーダー情報交換会」
を第2層協議体と位置付けて、地域の身近な通いの場であるミニディサービスについて話し合いを進めました。

テーマ

「みんなで目指そう！

健康長寿で元気な加美町」

～ 集いの場 編 ～

1. 実施月日と参加状況

	小野田地区	宮崎地区	中新田地区
開催月日	8月20日(火)	8月22日(木)	8月23日(金)
時 間	9:30~11:30		
場 所	小野田福祉センター	宮崎福祉センター	中新田公民館
参加人数	34名 (17/22行政区)	32名 (18/28行政区)	43名 (19/29行政区)
	109名(54/79行政区) 68.4% *R5: 92名(45/79行政区) 57.0%		

- * 参加者は、区長さん・民生委員さん・ボランティアさん など 様々な立場の方々となっていました。
- * ミニディーサービスを実施できていない行政区のリーダーの方々も出席していました。

2. 内 容

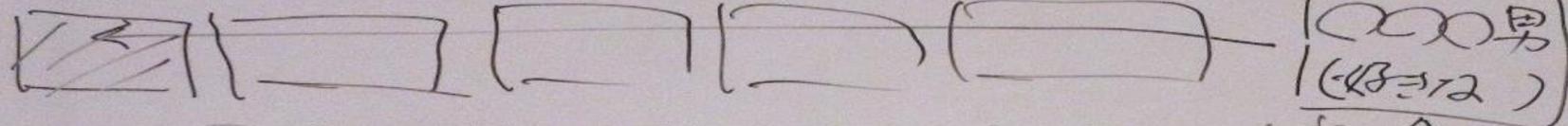
テーマ 「みんなで目指そう！健康長寿で元気な加美町」
～集いの場 編～

- (1) 加美町高齢者福祉計画におけるミニデイ事業の位置づけ（情報提供）
- (2) 加美町の健康情報と介護予防の必要性（情報提供）
- (3) 行政区ミニデイサービスの開催状況調査の報告（情報提供）
- (4) お茶っこ飲み会がもたらす好影響について（話題提供）
- (5) 情報交換（グループワーク）
ファシリテーター：各地区生活支援コーディネーター

他の行政区でのミニデイ実施について情報交換
開催場所・開催頻度、開催時間、内容
周知方法、移動手段、対象者の状況、
お世話役など・・・



1 グループ



- ① ミニデイの名前(行政区) 名前の由来 食べ物
- ② お世話役は何人くらい?
- ③ 周知方法は? (どんな人)
- ④ 参加者数はおおむね? (男 女)
- ⑤ 集会所以外での開催はある? (年何回?)

⑥ 移動手段はどうですか? (送迎あり? なし? 誰が?)

⑦ 1回あたりの会費

⑧ スケジュール(はじまりの時間~お終りの時間)

⑨ プログラム (体操はしているか?
昼食は出すか? (どんなもの?))

⑩ おススメのネタ

⑪ 何でも話そう (悩んでいること・課題)



—小野田地区のまとめ—

▶万が一事故が起きた際の責任が心配！

- ・事故が起きた際に、町なのか部落なのかはっきりさせた方がいい。
- ・やくらいガーデン散策などの際は保険加入が必要と思っている。社協から情報提供してもらった。
- ・送迎は行っているところいないところと様々。万が一事故が起きた際の補償はどうか？

▶地域振興交付金について

- ・区長との連携がうまくいっていないためか、ミニデイ助成を受けていない地区もあった。

▶参加者の声を汲みながら活動に盛り込んでいる取り組みが好印象！

▶参加者の半分近くが男性という行政区もあった。

▶現在未実施の行政区長さんも参加され、開催に向けて準備をすすめているようだった。



2グループ

①

お茶の飲み会

お茶の飲み会

お茶の飲み会

北区ミニデスカン

お茶の会

10:00~12:00
昼食持ち帰り
12:00解散

10:00~12:00
昼食は弁当持ち帰り

10:00~12:00
昼食は弁当も取りよせ
用事がある人は昼へ出て
弁当持ち帰り

10:00~12:00
昼食 弁当持ち帰り

10:00~13:00 (皆既分は 町茶会)
昼食は 弁当(持ち帰り)
送迎は 役員がします

集会所 (町茶会上)
11月
薬師の湯 (11~21日)
白根? 支那

域内コミュニティセンター

集会所
ササノの花見は
兼ねて行った

集会场 薬師の湯
(11/14, 21)
11/22(17日)
老人会と一緒

摩多原地域コミュニティセンター
ササノの湯 (町茶会)
2回位
役員送迎

④

制限ナツ

65+

65才位のは

制限なしで
若い人はいせとあかこ

65才以上で高齢の人

⑤

区長への回覧にて
周知

役員が会員への
文章を配布する

カサ美町の報紙と一緒に
毎月配布 区長に作成
班長に区長さんに連絡
する

毎月4ラシで

4ラシ 来て6ラシ
人が来れない時は
電話で連絡する

⑥

基本的に日徒歩
(例外的に週元有)

役員送迎
徒歩
自転車に参加して

徒歩 1人

乗りあわせ
各自 自転車

個人でボランティアの
のせりいで来る

⑦

区長エンメ
ボランティア

ボランティアから2人で世帯

役員への会合は
区長が来たあつた
普段はお茶の飲み会
役員で

区長
ミニデリダー
民生委

3人のお世帯で
頑張るの対

②

運動会と同時 皆既
大はかばかで大盛り上がり

レクリエーション
ホッパ
セグ作りとセグ作り
あつた 町茶会
EVENING

・運動会と同時 皆既
のりまのり。ホッパ
健康教室のその他
ゲーム

貸出物
・ポケットボール
・宿型玉入れ
ゲームとして上がった
川原にて茶会がある

コロナ前 会合は
皆さんに会って
大変な世帯

4つくりセタ作り

—宮崎地区のまとめ—

▶活動について

- どんな活動をしたらよいか悩みながら行っている。
 - 参加者はみんなと話をしたがつている。話ができる場を作るだけでもいいと思う。
- ▶参加者の楽しみもいいが、お世話役の楽しみも必要！（みんなで楽しめる企画をしたい！）**
- ▶参加者増や回数多くを求めるより、長く楽しく続けられるよう皆が元気になれるミニデイにしよう！**



—中新田地区のまとめ—

▶活動について

- ・様々な工夫をして実施している。
- ・地区には活用できる様々な資源があり、うまく取り入れて実施している。(地域の幼稚園や踊りの団体など…)
- ・近隣の行政区との交流もいい！
- ・地域の高齢者はどのようなことを期待して参加しているのか？そのことを踏まえながら内容を考えていきたい。

▶男性の参加者が少ないのが課題！

▶現在未実施の行政区長さんも参加され、開催に向けて準備をすすめているようだった。



6 グループ

竹中 要子 (フルーツ(あひ))	鎌田あゆ子 (メロ2)	高橋 洋子 (さしみ)	有馬 七郎 (かじとば)	須賀 不雄 (ウリ)	齊藤 實 (ウリ)	早坂 いち子 スウ
新丁区 ミニテラ推進 委員会	岡町区 右七世会	西町ミニテラ(西町) 西友会(西町)	交通防犯部 森山 谷	ほほえみ会 下多田川	中新田城内 ミニテラサービ	寿会 (上猿塚)
区長 1 民生委員 2 保健推進委員 2 ボランティア 2	岡町区 保健推進員 3人	区長 3名 他(老人会等)1名	区長 区長代理 民生委員 計7人	区長 須賀不雄 2名	会長 → 区長 副 → 民生委員 班長 → リーダー 6人	会長 ミニテラリーダー 1人
回覧板に 募集チラシを入れる!	回覧板に チラシ入れる	回覧板に (社会福祉員に回す) ありの会	回覧板に チラシを入れる	の連絡 員に連絡!!	毎年3月に 回覧板募集	回覧板
35~40名 (コロナ前は50名前) 内男性 3~4名	男9名 女31名)40名	25~30名 男女5割 20~25名	男性25人 女性3人 計28人位	役員 12名 3名 9名	男10名 } 25名 女15名 }	女3名 } 10名 男7名 }
中新田児童館	公民館	中新田児童館	集会所 (森山谷)	下多田川集会所	みなみ児童館	広原公園
徒歩	各自車か徒歩	各自車か徒歩	各自 徒歩 個人車両 (森山谷)	各自車	シルバーカー	車
会費は基本なしで お弁当渡す時のみ ¥300くらい	300円	300円	区から助成 年々費 1000円 (森山谷)	区から助成 年々費 1000円	毎回 300円	なし
10:30~12:00	10:00~12:00	10時~12時	10:00~12:00 会合時間 (森山谷)	10時~1時 弁当	10時~11時30分	9時~11時
・7777体操 ・社協エール/レクレーション ・国立音楽院エールの協力 ・お弁当毎回 ・お弁当は、香野の代弁時 持ち帰り	社協、レクレーション お茶、弁当、持ち帰り	健康体操(時々) 出します(お茶弁当 持ち帰り)	健康体操(時々) 7777体操 お茶、弁当、持ち帰り (森山谷)	準備体操 スカートホールド	元気よく体操 対健康体操 お弁当持ち帰り	弁当はなし です。 お家で食べる。
社協エール協力のレクレーション (ゲーム等) 軽く郵便物の配り です!!	お茶、歌など	特になし	お茶、持ち帰り (森山谷)	なし	室内不揃い (Tシャツ等)	特になし

参加者のアンケートでは(抜粋) No.1・・・

- ・他の地区の活動を知ることができてよかった。(会費の在り方、行事の内容・・・)
- ・他の地域の方々との情報、勉強になりました。参考にして考えたい。
- ・熱心に取り組んでいるところが多いことに感心した。
他の地区の方の行動力がすごい！
- ・工夫して活動しているところに感動した。
- ・サロンを毎月、毎週のように開催しているところがあったのには驚いた。参考にしたい。
→ 地区に戻って、もう少し回数を増やしたい。
- ・負担に感じない程度の回数や内容などを地区の人にアンケートをとってみてもいいのかもしれない。
- ・会の中に歌や体操を取り入れていきたい。
(げんきわくわく体操、かみジョイのゲーム、国立音楽院、社協のゲームなど・・・)
- ・リーダーや世話人の方が苦勞しながらも楽しんで取り組んでいる方もいることに驚いた。
- ・活動時の事故や怪我などへの対策のために保険を活用したい。

参加者のアンケートでは(抜粋) No.2...

- ・男性の人の参加を増やすためには？
- ・世話人やリーダーのなり手がいない！
- ・参加者を増やしていくためには？ 人集めの方法！
- ・活動主体をどう作っていくか？ボランティアに頼るのは限界である！
- ・年に1度程度、町のバスを無料で活用できるようにしてほしい！
- ・活動に取り入れられる物などについての情報提供がほしい！



他の地区の方々と情報交換の場面をもつことで、自分の地域のミニディサービスの取り組みについて考えるきっかけとなっています。

情報交換の中で出された課題や要望なども出てきているため、話し合いの場面を設けながら良いアイデアを出し合っていけるといいと思います。

地域資源の見える化(お宝情報誌の作成)に向けて・・・

生活支援コーディネーターの活動や話し合いを進めていくなかで、少しずつ地域の支え合い活動が把握されてきている。

(地域の通いの場・サロン・買い物支援などの生活支援・・・)

「地域のお宝発表会」で発表できる、地域の自慢の支え合い活動がある！

2層協議体でも地域の通いの場である「ミニディサービス」をキーワードとして、ミニディサービスリーダー情報交換会の場で話し合いを進めている。



第1層・第2層協議体ともに話し合いのテーマとなった

「地域の通いの場・サロン」

を中心としたお宝情報誌からまず取り組んでみたらどうか？